

科目名	心理学と意思決定	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			法律学科	□ 必修 ■ 選択
			学科	□ 必修 □ 選択
英文表記	Psychology of Decision-Making	開講年次	□ 1年 □ 2年 ■ 3年 □ 4年	
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	せと ひろし	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	瀬戸 泰	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	「人生は選択の連続である」といわれるように、私たちは日頃、自覚的・無自覚的に様々な意思決定を行っています。本授業では、経済学と心理学が融合した学問とされる「行動経済学」の理論を中心に、人の意思決定はいかにして行われるのかを学びます。後半では、意思決定に関する心理学的な理論についても学び、人間の合理的かつ不合理的な意思決定のあり方について理解を深めることをテーマにします。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行動経済学に関する代表的な理論や考え方を理解し、説明することができる。 2. 意思決定に関する心理学的な理論について理解し、説明することができる。 3. 日常生活における身近な出来事や現象について、上記1および2の視点から考察できる。 			
授業概要	座学を中心に、行動経済学を中心とした意思決定に関する基本的な内容を取り扱います。日常生活における具体例等を多数盛り込み、できるだけ分かりやすく授業を進めていきたいと考えています。			
授業計画				
第1回	イントロダクション	(授業の概要、行動経済学とは、人の判断は当てにならない?)		
第2回	プロスペクト理論①	(意思決定にまつわる非合理性の法則、価値関数、日常事例)		
第3回	プロスペクト理論②	(人は確率を正しく認識していない? 確率加重関数、日常事例)		
第4回	認知のクセと意思決定	(システム1 vs システム2、ヒューリスティック)		
第5回	認知バイアス①	(認知バイアスとは、選択に関するバイアス、記憶に関するバイアス)		
第6回	認知バイアス②	(推定に関するバイアス、対人に関するバイアス、認知バイアスのまとめ)		
第7回	ナッジ理論①	(認知バイアスを防ぐ・合理的な選択を誘導する仕組み、デフォルト)		
第8回	ナッジ理論②	(ナッジの作り方、選択アーキテクチャ、ナッジの具体例)		
第9回	ナッジ理論③	(ナッジのチェックリスト、行政とナッジ、負のナッジとしてのスラッジ)		
第10回	ゲーム理論と意思決定①	(ゲーム理論とは、最後通牒ゲーム、他者の目を意識する心)		
第11回	ゲーム理論と意思決定②	(独裁者ゲーム、不平等に敏感な心)		
第12回	人の進化と意思決定	(進化心理学、社会集団の一員としての私たち、適応合理性)		
第13回	思考実験	(明確な答えのない問題と判断材料、トロッコ問題、哲学的ゾンビ)		
第14回	自由意思とマインドフルネス	(自由意思の問題、リベットの实验、デフォルトモードとマインドフルネス)		
第15回	より良き意思決定のために	(意志力、WRAP理論、限られた合理性、より良き意思決定に向けて)		
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	学習内容の定着を図るため、毎回、復習を行うようにしてください。 授業で学んだことを、日々の経験や日常生活で意識的に当てはめ、考察・活用できるよう努めて下さい。			
履修条件 受講のルール	履修のための条件はありません。			
テキスト	毎回、講義用レジュメを配布します。			
参考文献・資料	筒井 義郎 ほか 『行動経済学入門』 (東洋経済新報社、2017年)			
成績評価の方法	毎回のコメントシート 60%、試験 40% ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。			

オフィスアワー	月曜日もしくは火曜日の10:30～12:00 ※上記以外の時間帯でも、研究室に在室中であればお声がけください。 E-mail : seto@nau.ac.jp
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	—
学生へのメッセージ	<p>「行動経済学」と聞いて、数式や難解な経済用語を思い浮かべて躊躇した方もいるかもしれませんが、授業では数式等はほとんど使いません。</p> <p>「本日限りの特別価格〇〇〇円！」と聞くと、ついつい買いたくなってしまおう</p> <p>「低迷している検診の受診率をどうしたら上げることができるだろう」</p> <p>「クレーンゲームで1000円も損しているのに、途中で止められない」</p> <p>行動経済学では、こうした人間の意思決定に潜むメカニズムについて、経済学と心理学を組み合わせた視点から分析していきます。行動経済学は現在、ビジネスやマーケティングはもちろんのこと、行政も含めた様々な分野で活用され、注目を集めています。今後社会に出る皆さんにとって、知っておいて損はない内容と考えられます</p>